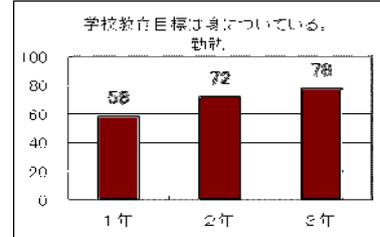
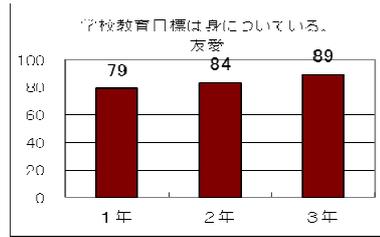
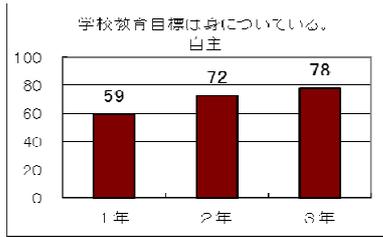


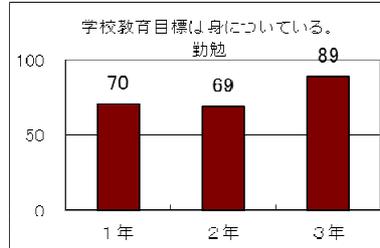
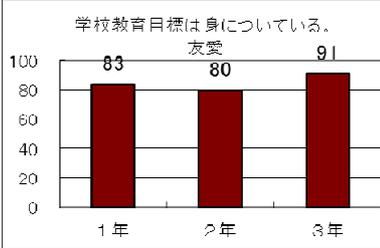
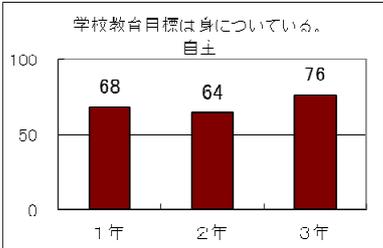
# 平成28年度 学校教育活動評価生徒アンケート結果

## 学校教育目標

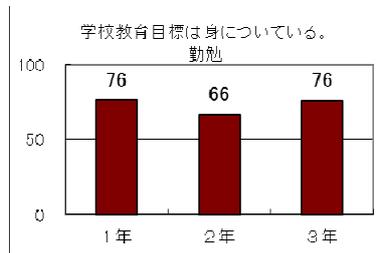
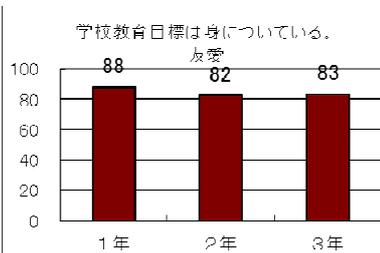
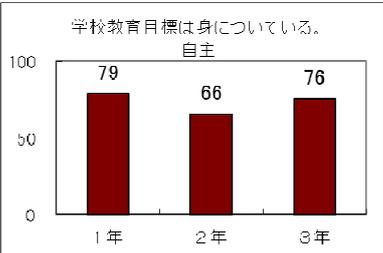
26  
年度



27  
年度



28  
年度

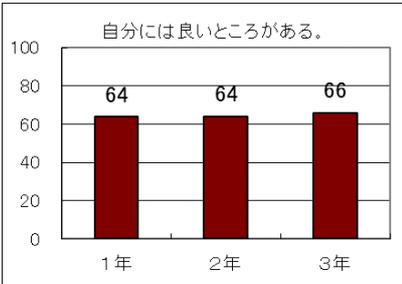
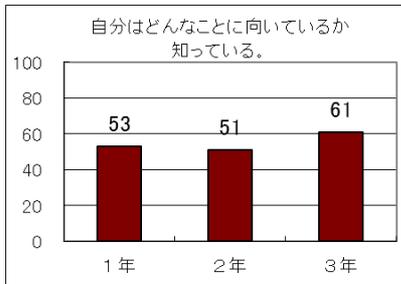


- ・『友愛』については毎年高評価であり、友達関係が良好と感じている。
- ・学年が進むにつれて『自主』と『勤勉』は高くなってきていたが、今年は1年生の意識が高い。

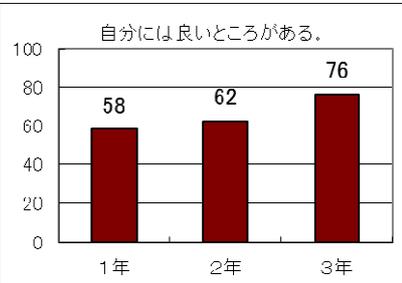
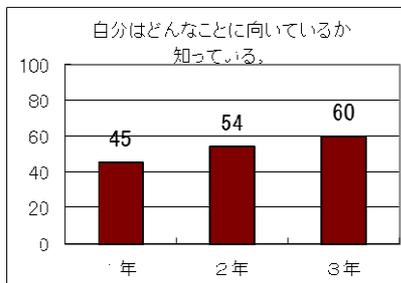
## 自尊感情

### 〈自己肯定感・達成感〉

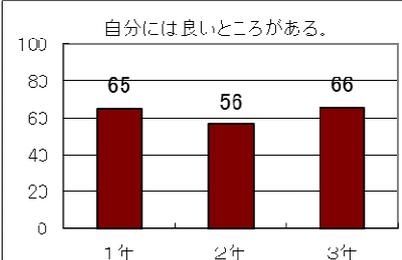
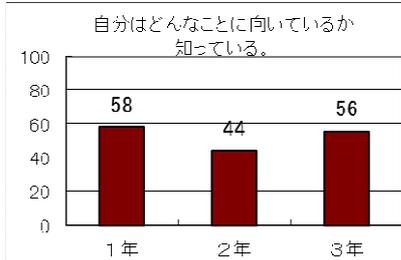
26  
年度



27  
年度

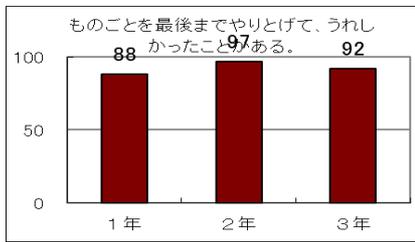
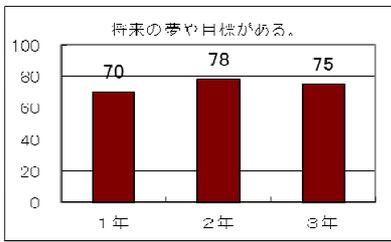


28  
年度

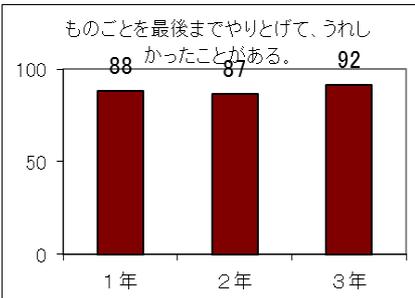
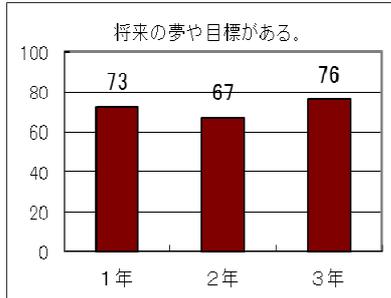


・自分がどんな事に向いているかということについては3年生でも6割に満たず全体的に低い。中学生では自分の能力を見極めることも決定することも難しいと思われる。1年次に自分探し・職業調べを行い、2年次に職業体験を行なう。キャリア教育を充実させ自分自身をしっかりと見つめ、自己啓発をもっと推し進め、自己を見つめる機会をたくさん増やしていきたい。

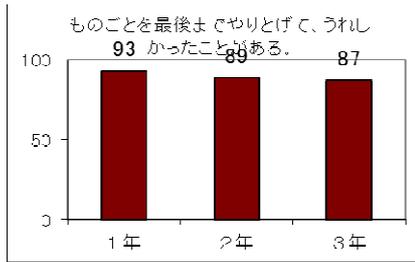
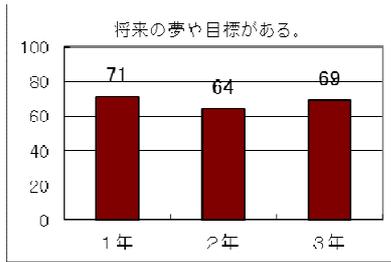
26  
年度



27  
年度



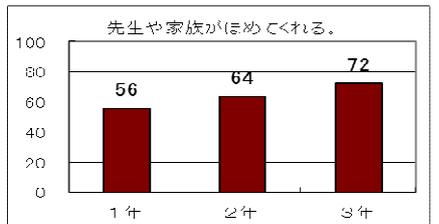
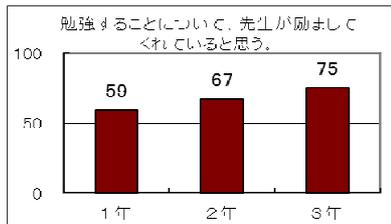
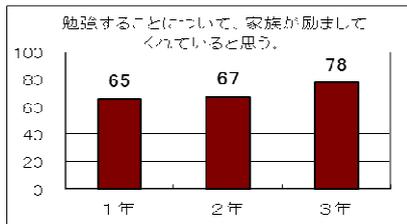
28  
年度



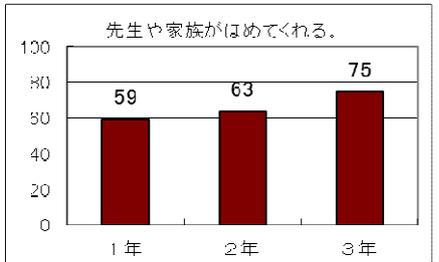
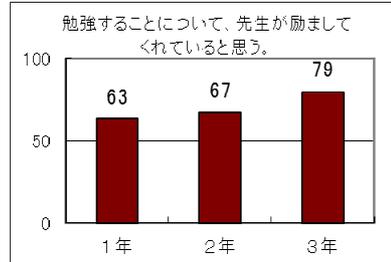
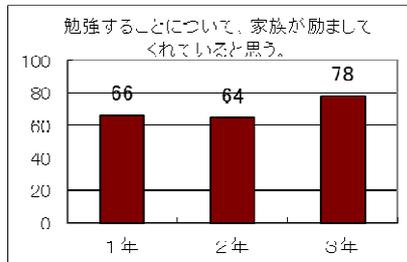
・将来の夢や目標があるかどうかは1年生でも高い数値を示し、すべての学年でもそんなに差はない。

・多くの生徒が成功体験をしており、うれしいことである。これが更に上昇志向を生み、良いサイクルができるよう、指導を推し進めていきたいと考える。

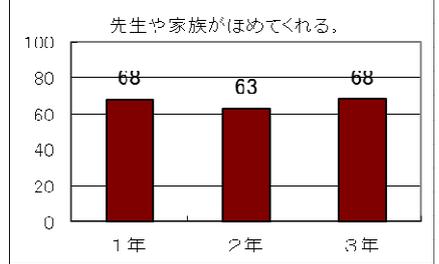
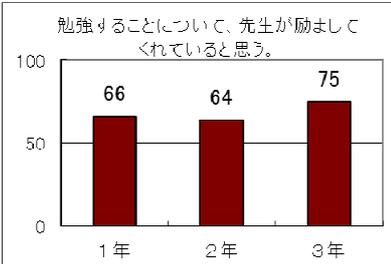
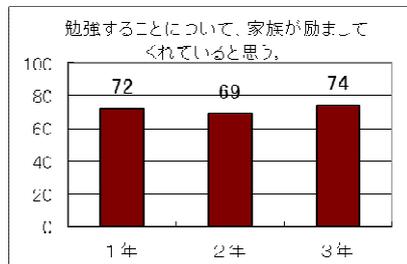
26  
年度



27  
年度



28  
年度

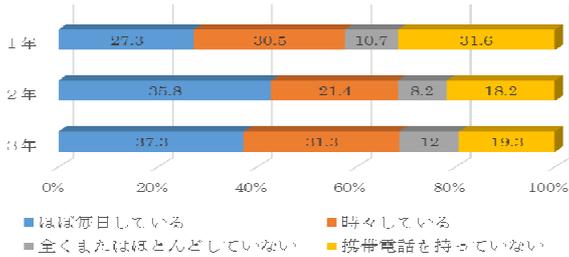


・勉強することに家族や先生は、励ましてくれていると感じているし、勉強以外でもほめてもらえていると感じている。

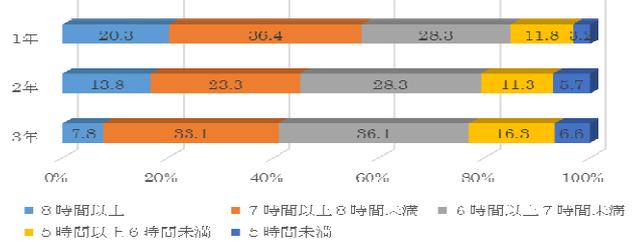
# 生活〈家庭生活〉

26  
年度

携帯電話やスマホで通話やメールをしていますか

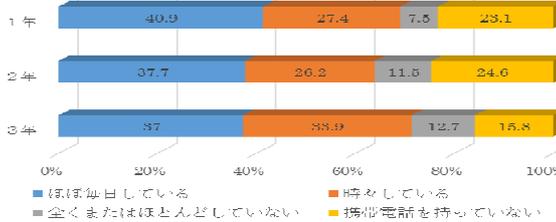


1日の睡眠時間はどのくらいですか

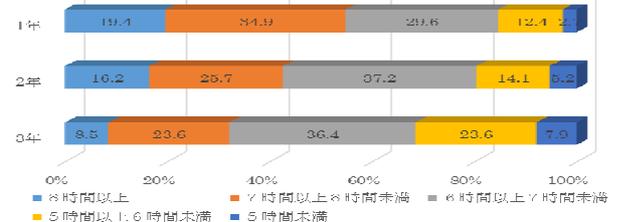


27  
年度

携帯電話やスマホで通話やメールをしていますか

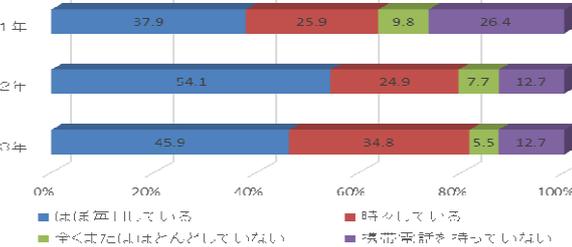


1日の睡眠時間はどのくらいですか

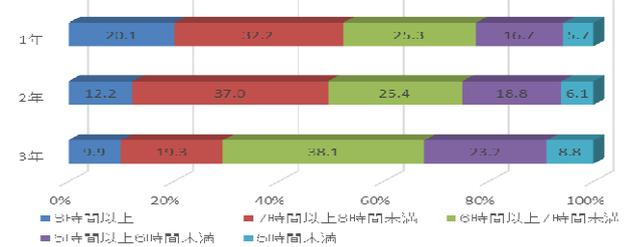


28  
年度

携帯電話やスマホで通話やメールをしていますか

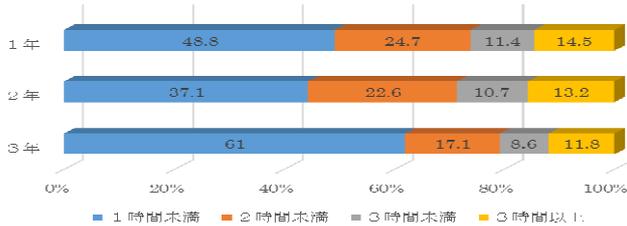


1日の睡眠時間はどのくらいですか

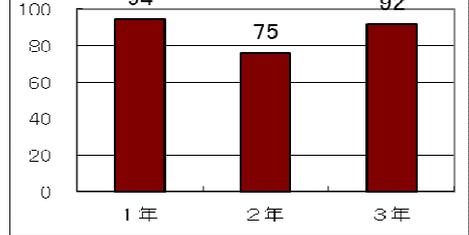


26  
年度

携帯電話を1日にどれくらい使っていますか

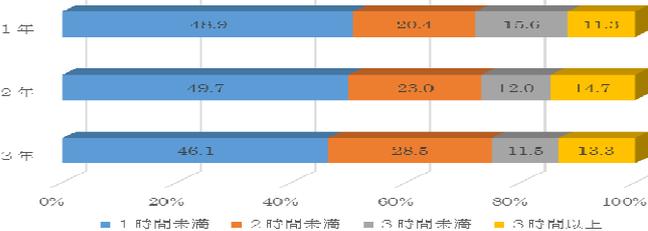


学校に行く前に朝食をとりますか。

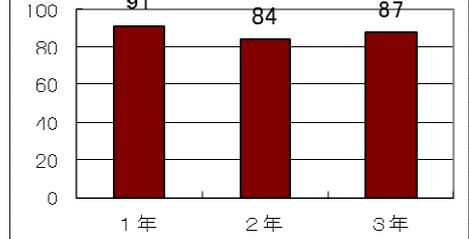


27  
年度

携帯電話を1日にどれくらい使っていますか

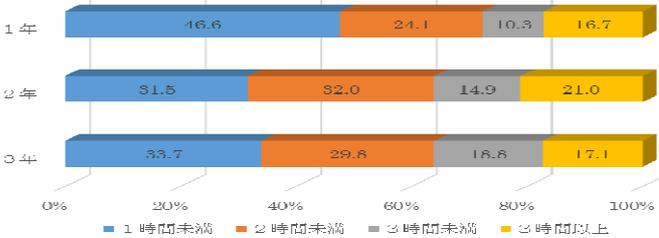


学校に行く前に朝食をとりますか。

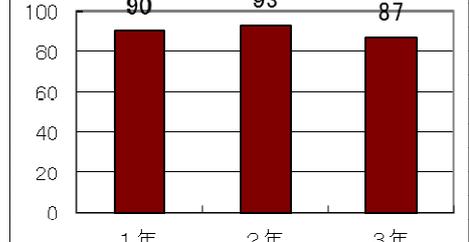


28  
年度

携帯電話を1日にどれくらい使っていますか

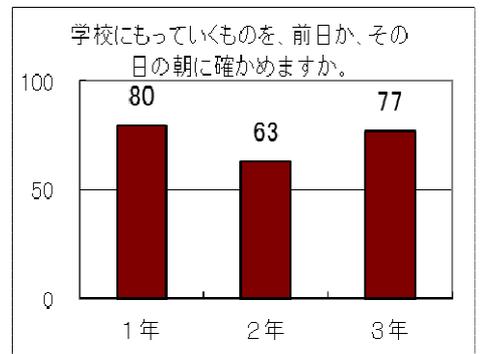
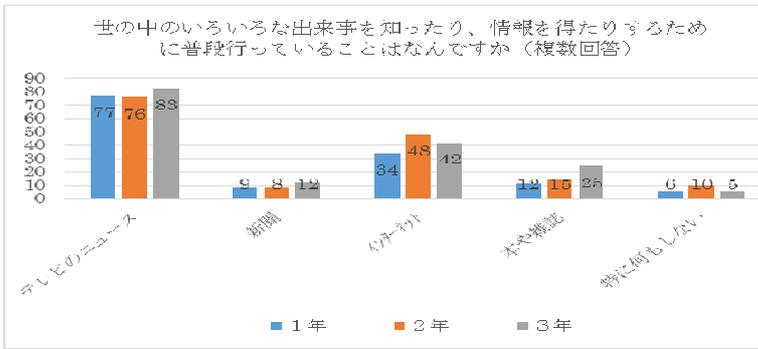


学校に行く前に朝食をとりますか。

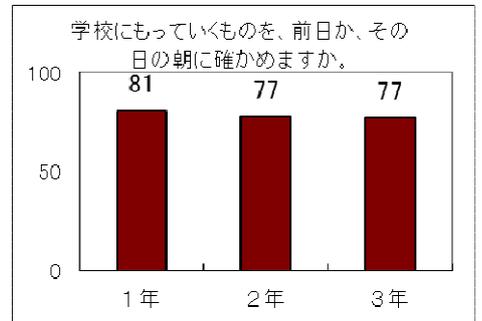
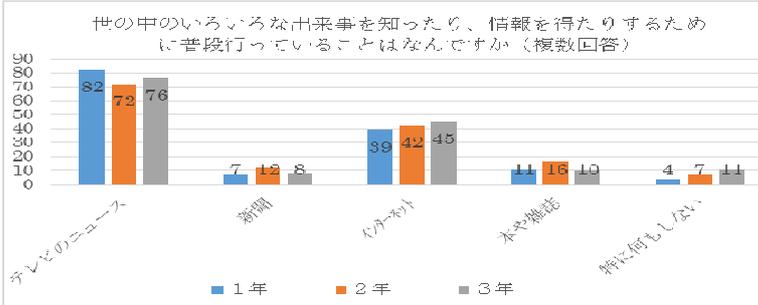


- ・朝食を摂ってから登校している生徒は毎年9割前後と高い傾向である。
- ・携帯電話の使用時間が年々増えている。情報モラルをきちんと身につけ、使用方法について約束事を親子でかわすなど正しい使い方を身に付けるよう学校でも指導をしっかりと行ない、家庭でも確実に指導するよう働きかけていきたい。

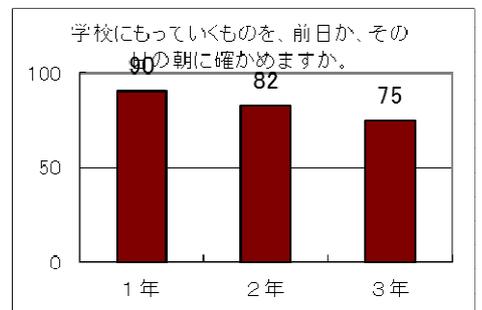
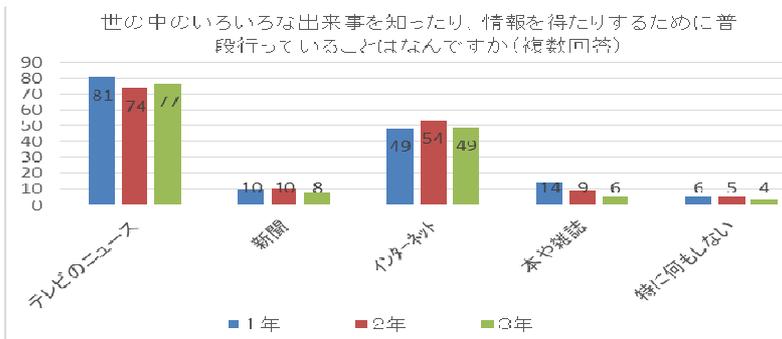
26年度



27年度

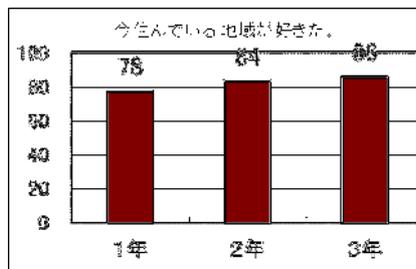
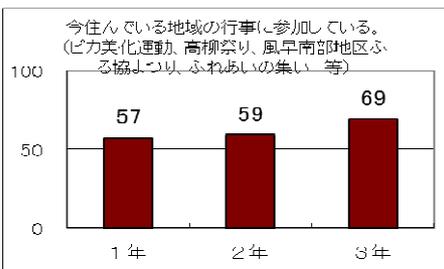


28年度

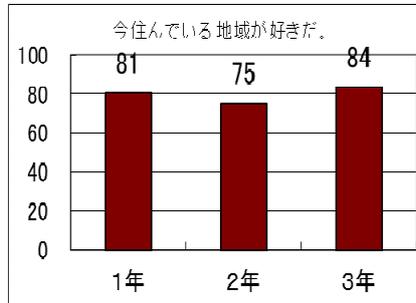
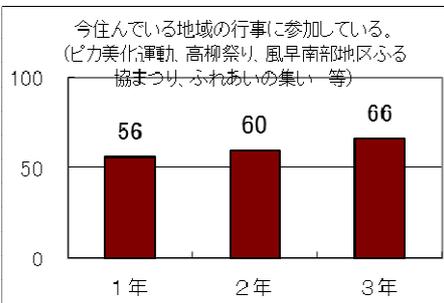


・各学年とも世の中の情報を得るためにはテレビからが一番多い。インターネットからという生徒は微増している。ニュース等の情報以外はネットから得ているように思われる。

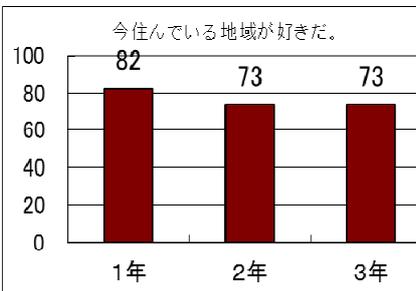
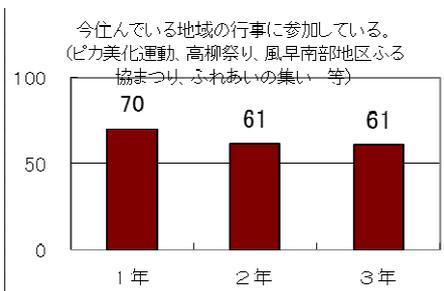
26年度



27年度



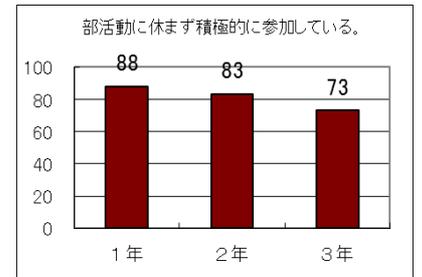
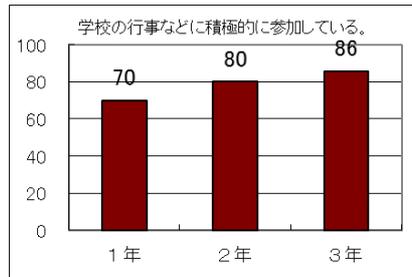
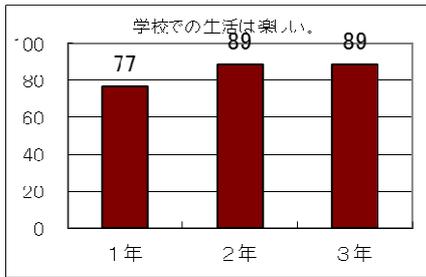
28年度



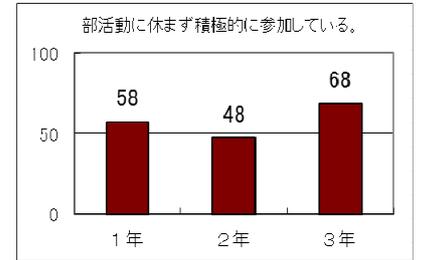
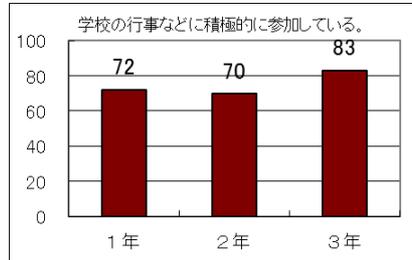
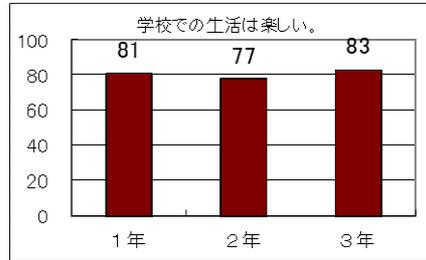
・地域の行事に参加したりするような地域に対しての愛着心が減少傾向にあることが寂しい。生徒が地域にどんな行事がいつあり、内容はどうかなどを積極的に知り、参加意欲を持たせる工夫と、更に参加状況を良くするために積極的なアプローチを行なっていかなければならないと思う。

## 〈学校生活〉

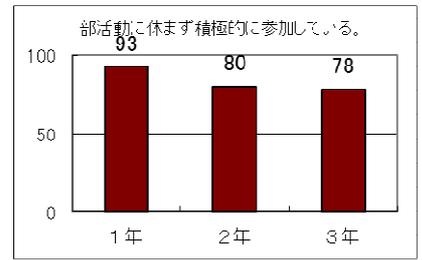
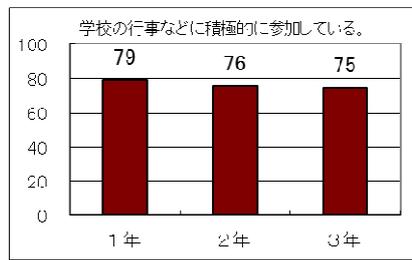
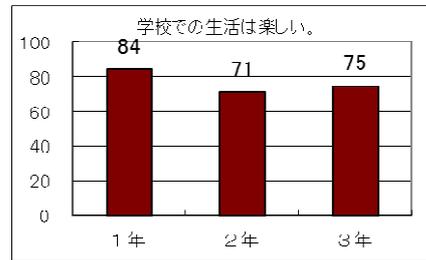
26  
年度



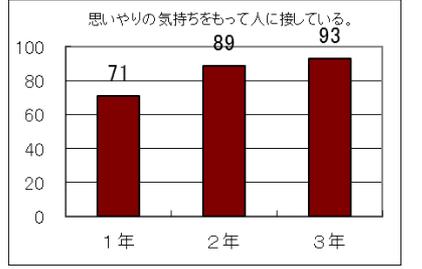
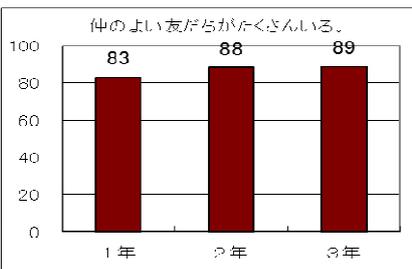
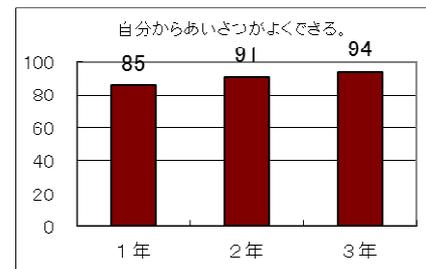
27  
年度



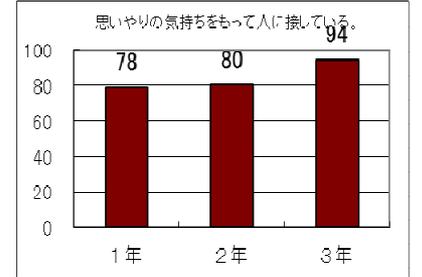
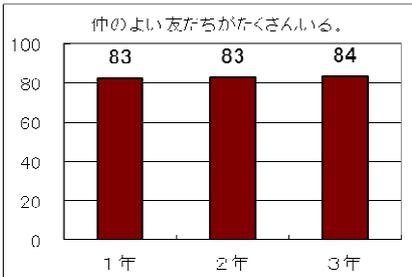
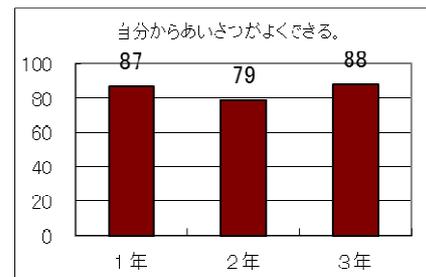
28  
年度



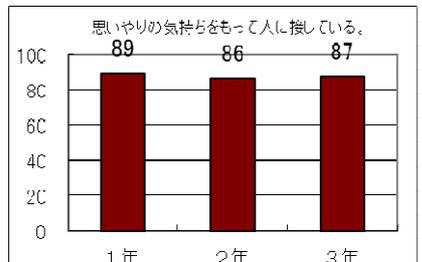
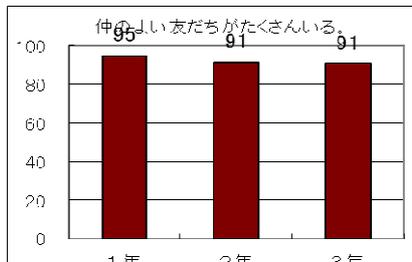
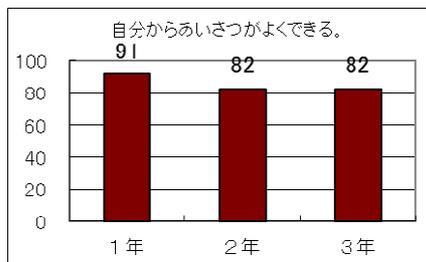
26  
年度



27  
年度

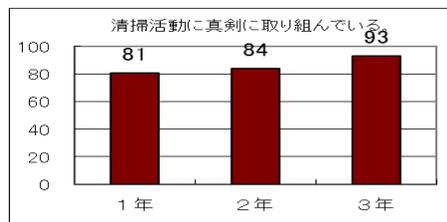
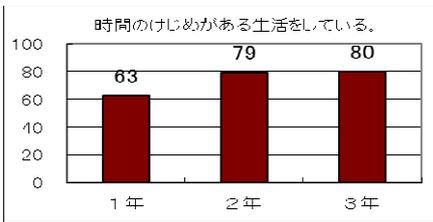


28  
年度

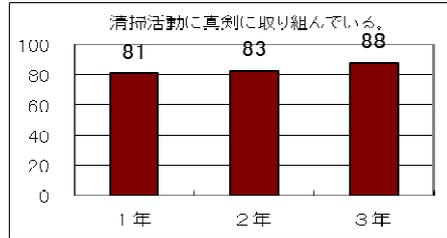
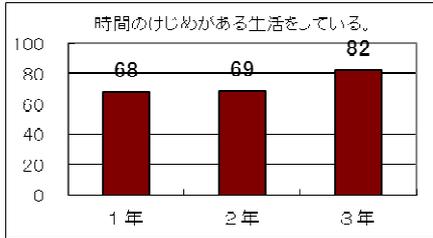


- ・学校生活における基本的な内容であるここでの項目は、高い評価が多い。生徒自身の自己評価なので手放しでは喜ばない。三本柱の一つである『あいさつ』はまだまだ気持ちの良いあいさつが自然に飛び交うような学校とまではいかずさらに心地よい挨拶ができるようにしていくための手立てをしっかりと立て、継続指導が必要である。
- ・友達がたくさんいると答えている生徒も9割を超え、思いやりの気持ちを持って人に接しているという生徒の割合も高い。さらに様々な場面や人たちに積極的に働きかけができるよう、道徳やピアサポートなどの授業や日常の指導にしっかりと取り組んでいきたい。

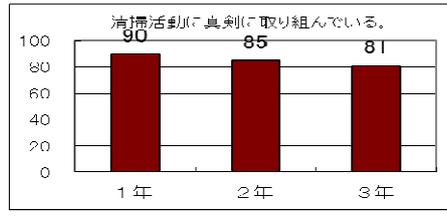
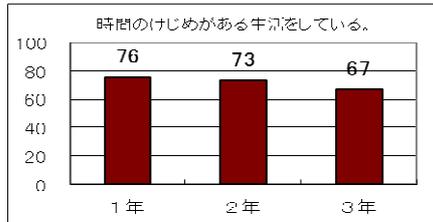
26年度



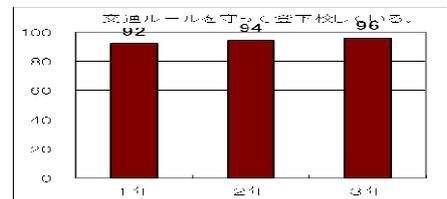
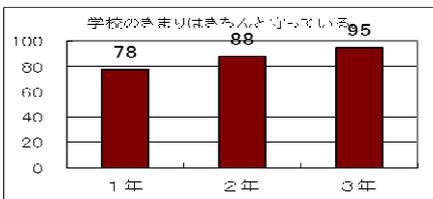
27年度



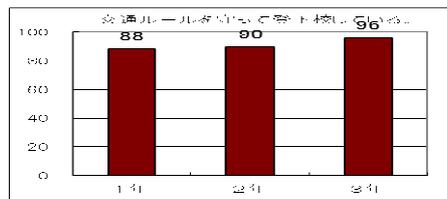
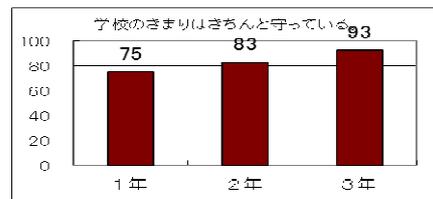
28年度



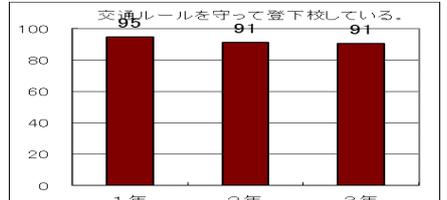
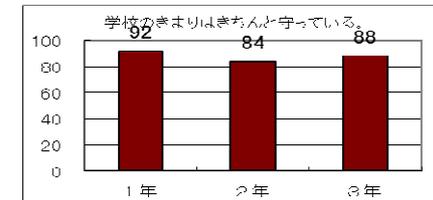
26年度



27年度



28年度



・本校はノーチャイムであるが、それ故、時間にけじめをつけられないと学校生活が乱れていく。生徒の時間に対する意識が学年が進むにつれて低下していることは問題である。

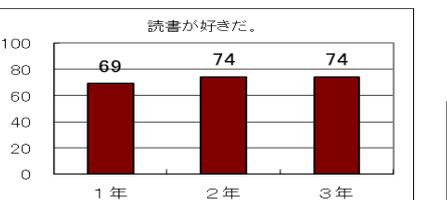
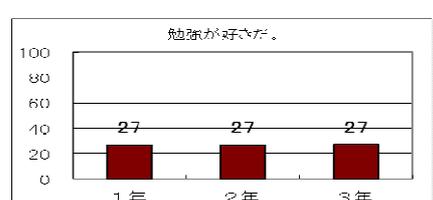
・清掃活動も同様である。8割の生徒が真剣に取り組んでいると答えているが、さらなる向上のために清掃の方法についてより具体的に指導し、教員も生徒とともに活動し、自主的な清掃ができるよう指導していきたい。

・決まりを守っていると答えている生徒は多い。生徒指導を始めその効果ができているといえよう。

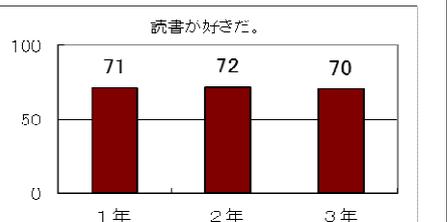
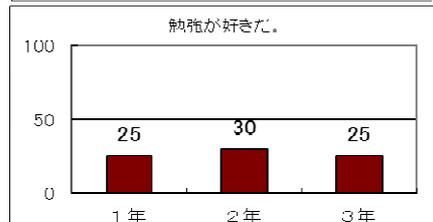
・交通ルールを守っていると答える生徒も多いが、実際の動きでできているかの確認も含め、交通ルールをどれだけ理解しているか、更に指導していきたい。

### 学習 <学習意欲>

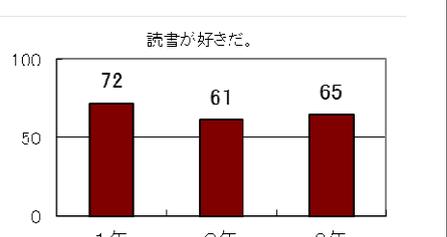
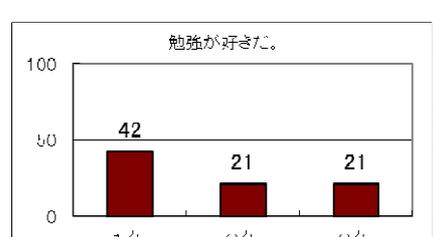
26年度



27年度



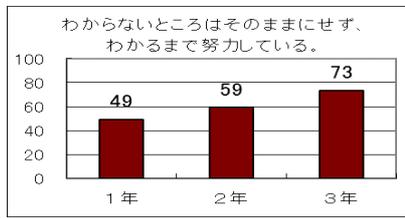
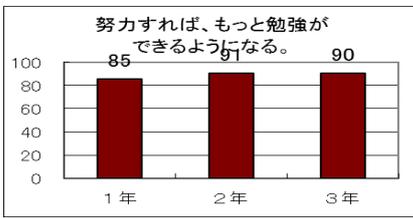
28年度



・やはり、勉強が好きだと答えている生徒は非常に少ないが、1年生が例年になく高い。さらなる学習に対する興味関心を高めるためにも授業方法の工夫が必要である。

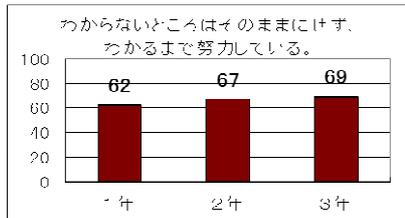
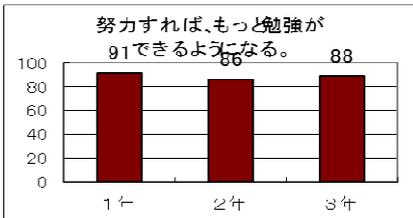
・読書が好きだと答える生徒が減少傾向を示した。メディアセンターのより一層の充実や活用を図り、読書への取り組みも工夫し、もっと読書に対する興味関心を高めたい。

26年度

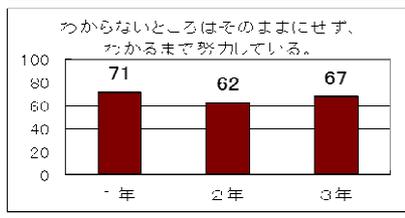
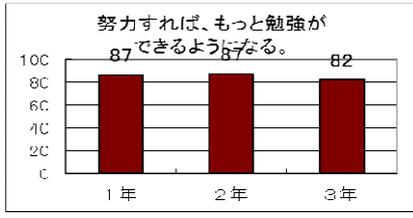


・努力すればもっと勉強ができるようになると考える生徒が、毎年9割近くいるが、わからないところをわかるまで努力している生徒の割合が、例年少ない。やればできるけどやらない。やる気になればできるという楽観的な考え方も見え隠れしている。生徒のやる気を促すように教師側からの働きかけを積極的に行なうことが必要とも思われる。

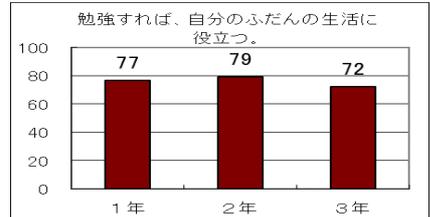
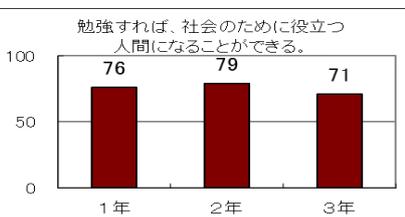
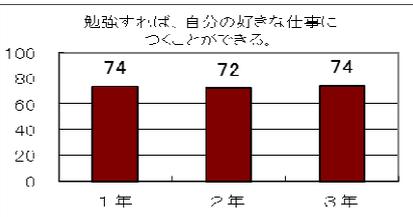
27年度



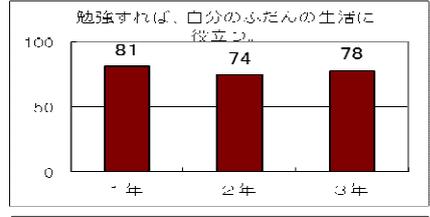
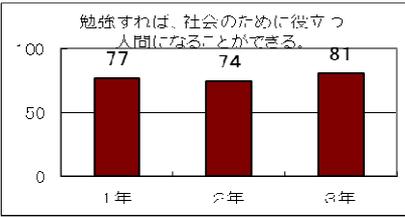
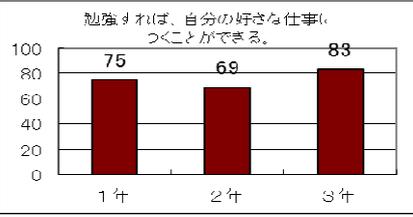
28年度



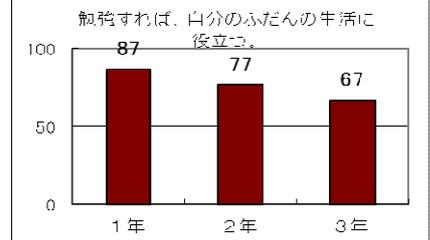
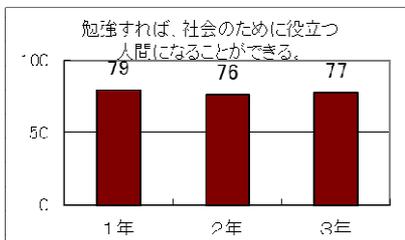
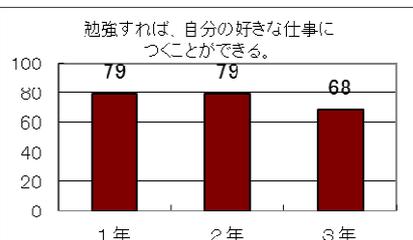
26年度



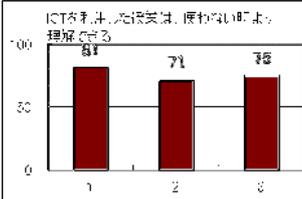
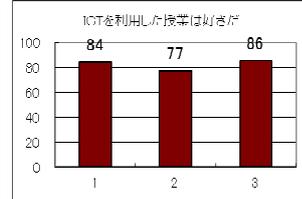
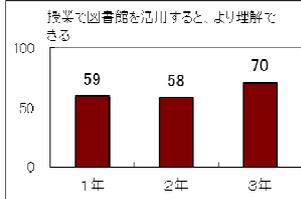
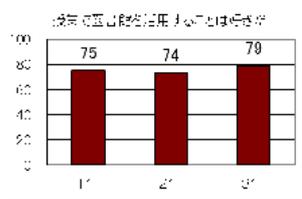
27年度



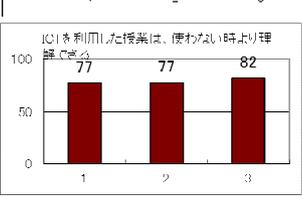
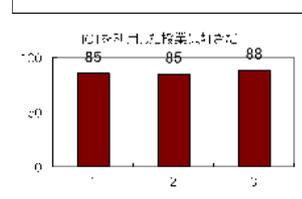
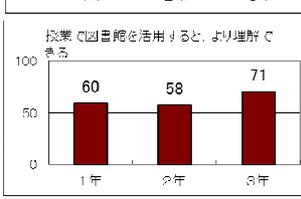
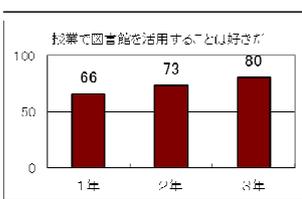
28年度



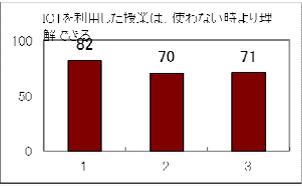
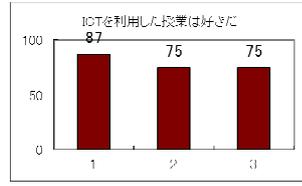
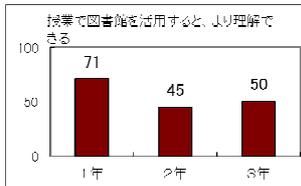
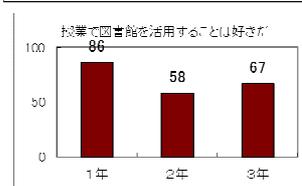
26年度



27年度



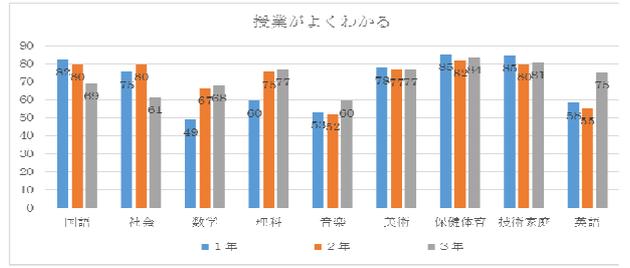
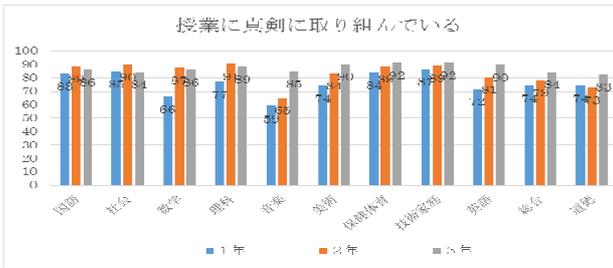
28年度



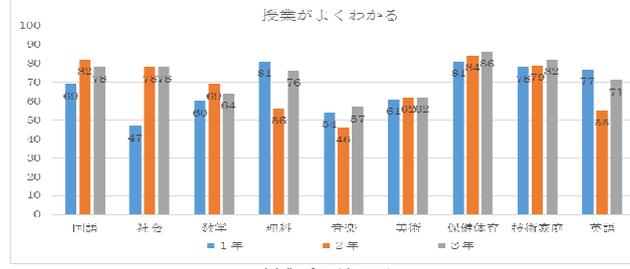
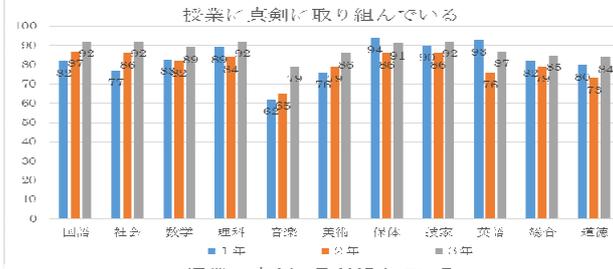
・勉強しても普段の生活に役に立つとか自分の好きな仕事に就く事が出来ると思っている生徒が学年を追うごとに減っているのは悲しいことである。  
 ・ICT活用や図書館の活用などさらに有効な活用方法を見いだしていかなければならない。

## 〈授業への取り組み・理解〉

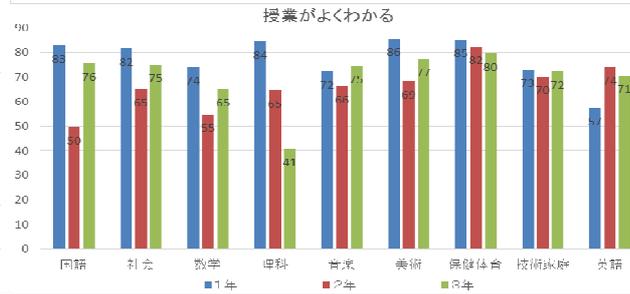
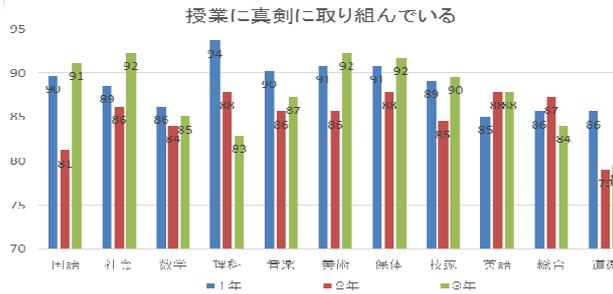
26  
年度



27  
年度

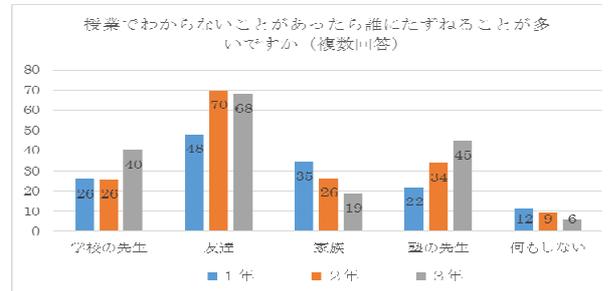
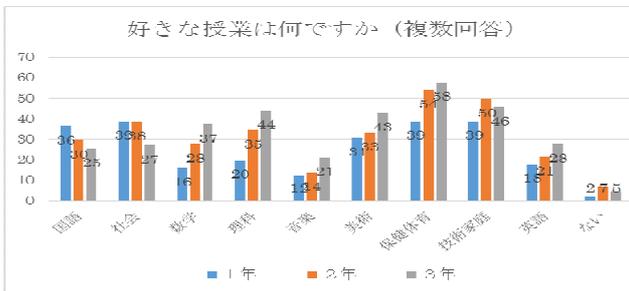


28  
年度

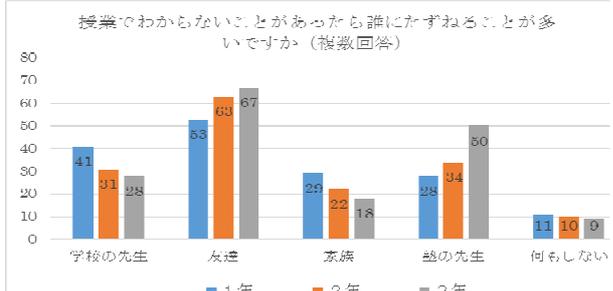
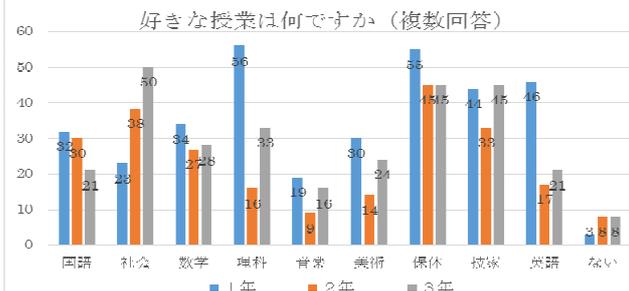


- ・全体的に授業に真剣に取り組んでいるという生徒は、8割を超えている。
- ・教科によって、真剣に取り組んでいる、授業がよくわかる生徒の割合に差があるが、これを各教科担当は真摯に受け止め、これからの授業方法の練磨を行っていきたい。

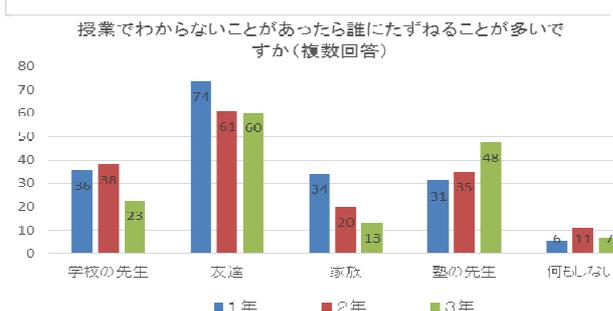
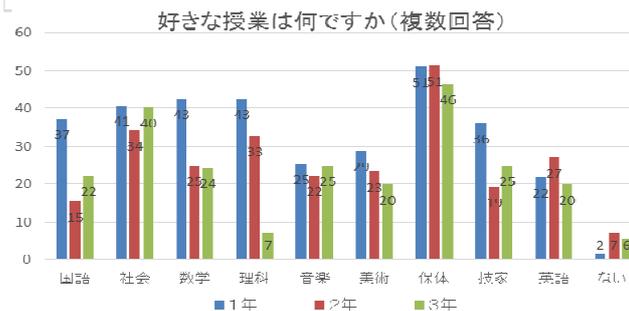
26  
年度



27  
年度



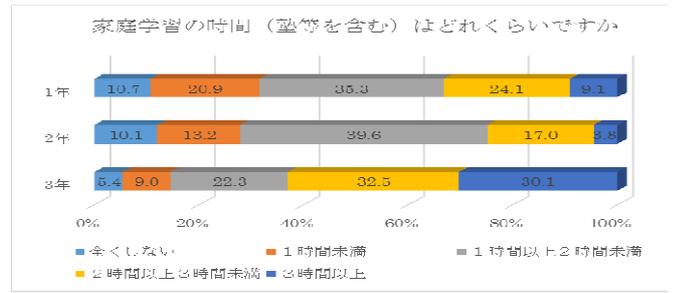
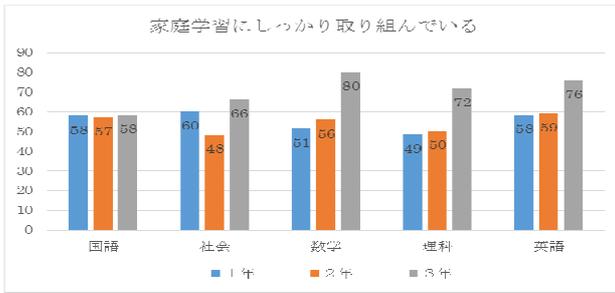
28  
年度



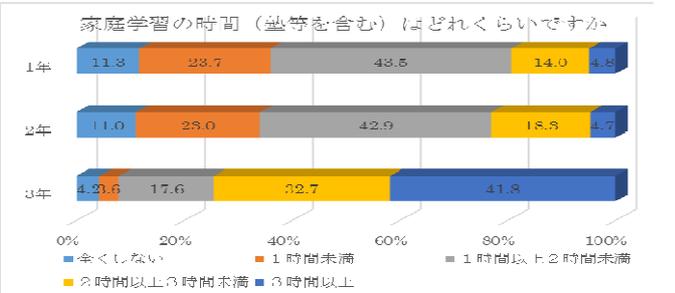
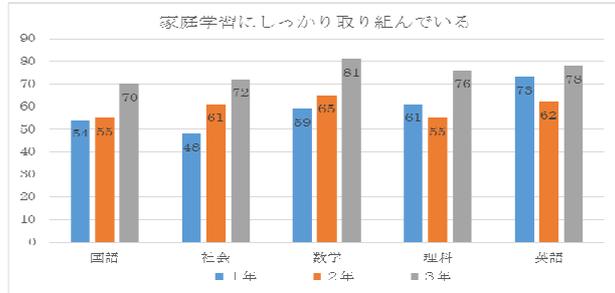
- ・好きな授業はやはり各学年とも保健体育の授業が多く、他の教科は学年によって差異がある。この差がなくなるように真摯に取り組む必要がある。
- ・授業中でわからないことは身近にいて聞きやすい友達に聞くという生徒が例年多い。

〈家庭学習への取り組み〉

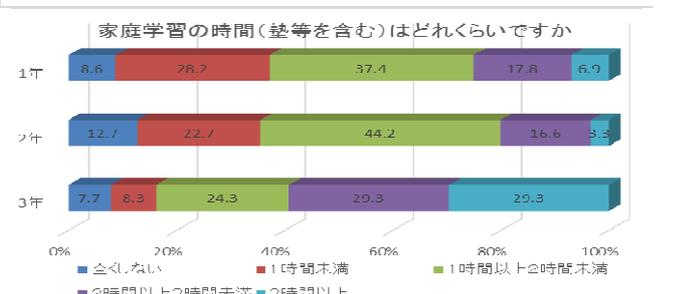
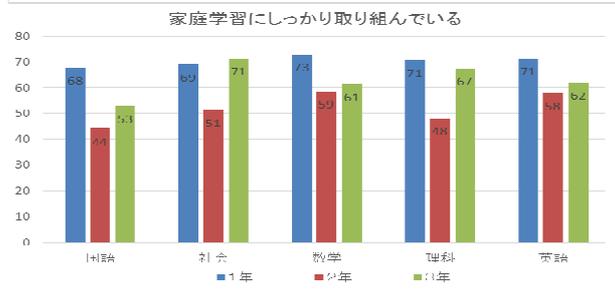
26  
年度



27  
年度

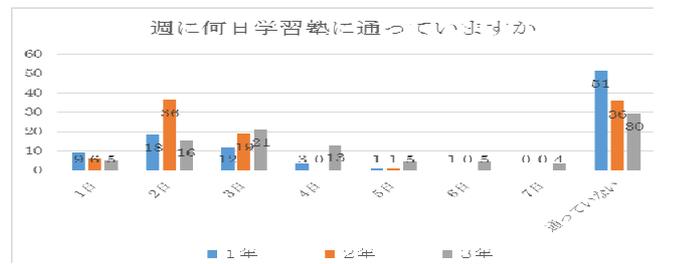
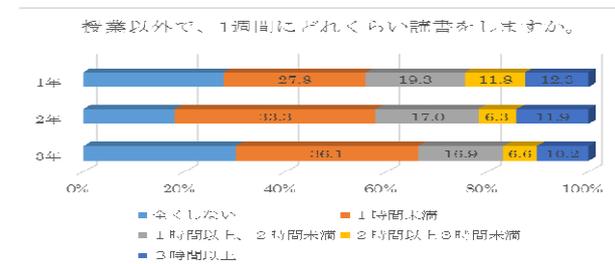


28  
年度

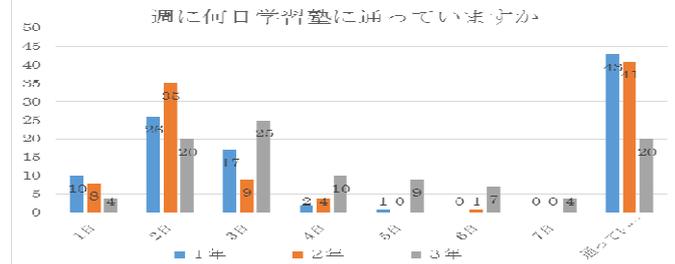
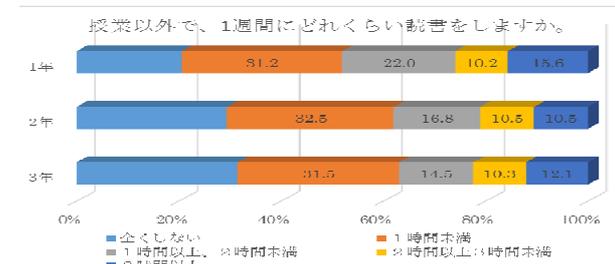


- ・3年生になると自覚が出て各教科ともまんべんなく家庭学習に取り組む生徒が増加する。
- ・家庭学習時間も学年が進むにつれて全くしない生徒は減るが、1, 2年生の1時間未満の生徒が4割近くいるのでさらに、家庭と連携して家庭学習の定着を図りたい。

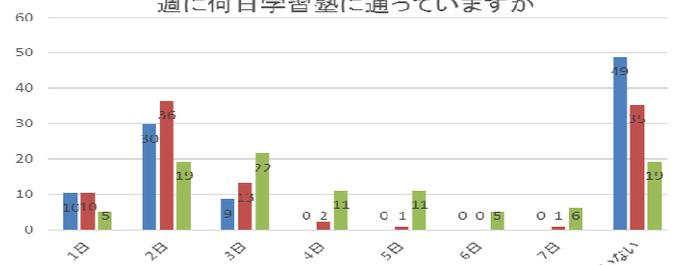
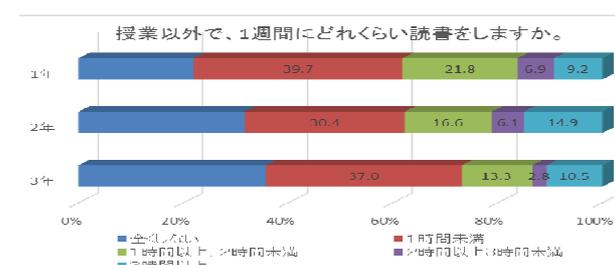
26  
年度



27  
年度



28  
年度



- ・授業以外で読書をする生徒が増えている。毎日の朝読書の良い影響が出ていると考えられる。
- ・学習塾には各学年とも2~3日通っている生徒が増加傾向にある。